事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

総合施設長	副施設長	援助課長	課長補佐	医務課長	相談員	担当

ﾌﾘｶﾞﾅ 本人氏名	●●●● ●●●● 様	男 (女) 89 歳	要介護２	移動	□独歩 ■歩行器 □杖歩行 □車椅子 □その他（ ）
報告者	●●●●			発生(発見)日時	平成25年07月04日(木) 10:00 分頃

場所

■居室 □ﾎｰﾙ □浴室 □ﾄｲﾚ □拠点ﾌﾛｱ □廊下 □階段 □屋外 □送迎車内
□その他（ ）

状況

□転倒 ■転落 □誤食 □誤嚥 □誤薬 □ﾄﾗﾌﾞﾙ □単独外出 □介護中 □不明
□その他（ ）

入浴の為脱衣場に誘導し衣類を脱いでいる際、ご本人より「昨日の夜中に寝台から落ちたんだ」と話がある。状況を伺うと、時間は「わからない」との事だが、「夜中にトイレに行こうとして、靴を履こうとしたらベッドから滑り落ちて尻もちを付いたんだ。」と話される。

【施設内連絡】
１０：０５　●●援助員から●●●主任援助員へ事故状況を報告する。
１０：１０　●●援助員から医務へ事故状況を連絡する。
１０：１５　総合施設長不在の為、●●●主任援助員から副施設長へ事故状況を報告する。
１０：１６　●●●主任援助員から援助課長補佐へ事故状況を報告する。

症状

■無傷 □表皮剥離 □擦過 □切傷 □内出血 □火傷 □腫れ □変色 □熱感
□その他（ ）　部位

脱衣場にて身体観察するも腫れ変色は見られないが、右臀部を押すと痛みあると話される。

対応

□様子観察 ■湿布 □冷却 □吐かせる □吸引 □止血 □受診 □その他（ ）

医務に連絡し、シャワー浴なら可能との事でシャワー浴で対応後、右臀部に湿布貼用し様子見る。

ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ	体温	36.8 ℃	血圧	146 ／ 77 mmHg	脈拍	67 回/分	SP02	%	計測時間	09：30

要因・原因

□見守り不足 □知識・技術不足 □ﾙｰﾙ不遵守 □情報不足 ■環境・設備 □設備・点検不足 □人為的問題
□その他（ ）

普段、日中・夜間共に歩行器を使用しご自分でトイレに行かれている。
ベッドと靴の距離や歩行器の位置が離れていた可能性がある。ベッドに座り靴を履こうとした際に距離が離れていた為、足を伸ばした際にそのまま滑り落ちたと考えられる。

事故防止対策

夜間、巡回の際は靴の位置や向き・歩行器の位置を確認し、ご本人が１人でもトイレに行きやすい環境となるよう配慮する。（歩行器の位置はベッドと垂直に設置する）

ｶﾝﾌｧﾚﾝｽの必要性について　■不要 □必要

家族への説明

平成25年07月04日(木)	説明方法	□面会 ■電話	説明職員	●●●●
家族氏名	●●●●氏		続柄	娘

電話にて事故状況の説明・謝罪し了承得る。